

## 2018 年度課題研究会活動成果報告書

課題研究会名：薬剤情報リテラシー教育研究会

設置期間：2017/04-2021/03

代表幹事の氏名・所属：池田 和之（奈良県立医科大学附属病院）

幹事の氏名・所属：

岡橋 孝侍 京都第二赤十字病院（JAMI 評議員）

木下 元一 名古屋第二赤十字病院（JAMI 評議員）

小枝 伸行 八尾市立病院（JAMI 評議員）

関谷 泰明 岐阜県総合医療センター（JAMI 評議員）

活動成果の概要：

本年は、本課題研究の活動初年度として、講演会・学会シンポジウムでの薬剤関連の情報提供、課題の提示ならびに情報共有を行った。

### 1) 第 38 回医療情報学連合大会（第 19 回医療情報学会学術大会）

共同企画 7：処方せん・医薬品をめぐる最近の話題 最終報告

医薬品関連の標準マスタ 池田 和之 奈良県立医科大学附属病院

報告書への対応システムの現状と諸課題

松木 蘭孝二（(株) ソフトウェア・サービス）、戸山 亮（富士通（株））、

高島 浩二（日本電気（株））、山口 慶太（(株) 日立製作所）、関 雅

子（日本アイ・ビー・エム（株））、天海 宏昭（キヤノンメディカルシス

テムズ（株）

「内服薬処方せん記載の在り方に関する検討会報告書」実現への道

土屋 文人（日本病院薬剤師会）

### 2) 医療情報技師育成部会 生涯研修セミナー

部門を学ぶー薬剤部門編

「薬剤部門の業務」：奈良県立医科大学附属病院 薬剤部副部長 池田 和之

「電子カルテシステムの処方・注射関連機能」

：富士通株式会社 第二ヘルスケアソリューション事業本部

第一ソリューション事業部第一ソリューション開発部 木村 潤

「調剤室の業務を支えるシステム」

：株式会社トーショー システム提案室 星野 修久

「病棟の業務を支えるシステム」

：インフォコム株式会社 薬剤情報システム部 高石 尚子

3) 第 21 回日本医薬品情報学会学総会・学術大会

その医薬品情報 どう入手する？どう活用する？

－医薬品情報の業務効率化・高度化のための ICT ツール活用

「医薬品情報～医療情報 正しい情報の入手と活用に求められるものは？」

岡橋 孝侍（京都第二赤十字病院薬剤部，京都第二赤十字病院医療情報室）

「その医薬品情報 どう入手するか？」

関谷 泰明（岐阜県総合医療センター薬剤センター）

「国際基準の医薬品サプライチェーンマネジメントと GS1 標準コードの活用」

木下 元一（名古屋第二赤十字病院）

「療養型病院における医薬品情報の活用～情報共有・長期的薬学管理～」

小池 健太（医療法人社団誠馨会総泉病院）

「在宅業務での ICT 活用～ICT を用いた多職種連携による在宅患者の見守り～」

岸 雄一（ファルメディコ株式会社、一般社団法人日本在宅薬学、医療法人  
嘉健会思温病院）

「医薬品情報の収集と共有における ICT ツールの活用」

荒 義昭（国立病院機構埼玉病院）

4) 第 28 回日本医療薬学会年会

シンポジウム 58 「副作用防止のためのアレルギー・副作用情報管理」

「医薬品副作用の基礎知識－アレルギー性副作用を中心に－」

継田 雅美（新潟薬科大学薬学部臨床薬学研究室）

「医薬品情報データベースを利用した処方チェックの実際～アレルギーチェック  
に関する一考察～」

宮崎 美香、岩田 一史、秋吉 明子、陣上 祥子（熊本赤十字病院薬剤部）

「医療安全からみたアレルギー管理」

町谷 安紀（社会医療法人生長会阪南市民病院）

「薬物アレルギー（副作用）再発防止に向けた患者情報管理」

富岡 謙二（吉備高原医療リハビリテーションセンター）

「アレルギーや副作用を管理するシステムとその課題」

野村 浩子（一般社団法人徳洲会大阪本部）

「チームで取り組む医薬品アレルギー対策」

木下 元一（名古屋第二赤十字病院薬剤部）岸 真司（名古屋第二赤十字病院  
医療情報管理センター）

共催：薬剤師・医療情報技師会

- 5) 第40回日本病院薬剤師会近畿学術大会  
病院薬剤師に必要な医療情報システムのリテラシーとは  
2019年1月19日(土) 14:30~16:00  
座長: 多喜 和夫 (日本赤十字社和歌山医療センター薬剤部)  
演者: 池田 和之 (奈良県立医科大学附属病院薬剤部)  
町谷 安紀 (社会医療法人生長会阪南市民病院医療安全管理室)  
岡橋 孝侍 (日本赤十字社京都第二赤十字病院薬剤部)
- 6) 個人情報保護法の改正に伴う薬剤師の医療情報の取り扱いに関する調査・研究  
2018年5月31日  
日本病院薬剤師会雑誌、54(6);641-651、2018